2026年12月期　第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月12日

上 場 会 社 名　　株式会社メドレー　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　4480　　URL　https://www.medley.jp
代　　表　　者　(役職名)　代表取締役社長　　(氏名)　瀧口　浩平
問合せ先責任者　(役職名)　取締役　上級執行役員　CFO　(氏名)　河原　亮　(TEL) 03-6372-1265

配当支払開始予定日　　ー
決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第3四半期の連結業績(2026年1月1日～2026年9月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第3四半期	33,340	21.1	4,551	27.2	2,381	47.8	3,097	84.2	1,779	59.7
2025年12月期第3四半期	27,536	27.2	3,578	2.7	1,611	△31.7	1,681	△54.9	1,114	△52.0

(注) 包括利益 2026年12月期第3四半期　1,775百万円(　61.1%)　2025年12月期第3四半期 1,101百万円(　△53.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第3四半期	58.81	58.60
2025年12月期第3四半期	34.72	34.55

(注) EBITDA＝(営業損益＋減価償却費・のれん償却費・株式報酬費用)

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第3四半期	44,578	15,247	34.2
2025年12月期	41,252	14,799	35.9

(参考) 自己資本 2026年12月期第3四半期　15,247百万円　2025年12月期　14,799百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	―	0.00	―	0.00	0.00
2026年12月期	―	0.00	―		
2026年12月期(予想)				18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日～2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,400	26.1	5,800	20.3	2,950	37.2	3,250	47.6	1,800	84.5	58.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

(1)当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　無

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

(注)詳細は、添付資料P.8「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

(4)発行済株式数(普通株式)

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期3Q	31,808,600株	2025年12月期	32,738,600株
②　期末自己株式数	2026年12月期3Q	1,585,057株	2025年12月期	1,838,986株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期3Q	30,263,450株	2025年12月期3Q	32,108,707株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況……2
(1)当四半期連結累計期間の経営成績の概況……2
(2)当四半期連結累計期間の財政状態の概況……3
(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明……3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記……4
(1)四半期連結貸借対照表……4
(2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書……6
(四半期連結損益計算書) ……6
(第3四半期連結累計期間)……6
(四半期連結包括利益計算書) ……7
(第3四半期連結累計期間)……7
(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項……8
(継続企業の前提に関する注記) ……8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) ……8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) ……8
(セグメント情報等) ……9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) ……10
(企業結合等関係) ……11
(追加情報) ……12
(重要な後発事象) ……13

1. 経営成績等の概況

(1)当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間においては、人材プラットフォーム事業及び医療プラットフォーム事業双方において、医療や介護の提供体制を担う人材の不足や財源問題が継続しました。

このような事業環境のもと、当第3四半期連結累計期間における人材プラットフォーム事業の売上高は、人材採用システム「ジョブメドレー」において顧客事業所数及び従事者会員数が引き続き順調に増加したことに加え、オンライン研修システム「ジョブメドレーアカデミー」においても顧客事業所数が伸長したことにより増収となりました。医療プラットフォーム事業においても、各プロダクトの顧客への導入が堅調に推移したことにより、利用医療機関数が増加し、増収となりました。売上高が伸長する一方で、事業規模拡大に向けて人材プラットフォーム事業におけるマーケティング活動やオンライン研修システムへの成長投資、並びに医療プラットフォーム事業における組織体制の強化や「MEDLEY AI CLOUD」におけるAI機能の拡充、加えて株式会社ＲＭキャリアを連結子会社化する等、中長期的な成長を見据えた取り組みを積極的に実施しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高33,340百万円（前年同四半期比21.1%増）、EBITDA4,551百万円（前年同四半期比27.2%増）、営業利益2,381百万円（前年同四半期比47.8%増）、経常利益3,097百万円（前年同四半期比84.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,779百万円（前年同四半期比59.7%増）となりました。

なお、人材プラットフォーム事業においては、当社グループのサービスを利用して入職した求職者が求人事業所に入職した日付を基準として売上高を計上しているため、一般的に年度の始まりとされている4月に入職が増え、同月に売上高が偏重する傾向があります。

セグメントごとの業績を示すと、以下のとおりです。

①人材プラットフォーム事業

当第3四半期連結累計期間においては、利便性の向上に向けたサービスサイトの機能改善を継続的に実施し、人材プラットフォーム事業全体の顧客事業所数は前連結会計年度末比9.8%増の49.2万件となりました。「ジョブメドレー」における応募数は引き続き増加しており、掲載求人数についても前連結会計年度末比5.3%増の49.6万件となりました。また、株式会社ＲＭキャリアの連結子会社化に伴い、「ジョブメドレーエージェント 医師」及び「ジョブメドレーエージェント 薬剤師」が加わりました。

以上の結果、セグメント売上高は24,309百万円（前年同四半期比22.5%増）、全社共通費用配賦前のセグメント利益（営業利益）は8,120百万円（前年同四半期比19.3%増）となりました。

②医療プラットフォーム事業

当第3四半期連結累計期間においては、医療プラットフォーム事業全体の利用医療機関数は前連結会計年度に引き続き増加し、前連結会計年度末比4.7%増の2.3万件となりました。また、「MEDLEY AI CLOUD」において、医療現場における業務効率化と患者体験の向上を実現するための各種AI機能の拡充等を実施しました。

以上の結果、セグメント売上高は8,240百万円（前年同四半期比20.3%増）、全社共通費用配賦前のセグメント損失（営業損失）は776百万円（前年同四半期はセグメント損失（営業損失）259百万円）となりました。

なお、当該セグメント損失（営業損失）が発生している要因としては、高い売上高成長率を実現するための取り組みを優先していること等が挙げられます。

③新規開発サービス

当第3四半期連結累計期間において、米国における人材採用システムの事業拡大に向けた投資を実施しました。また、介護施設検索サイト「みんかい」においては、コンテンツ拡充及び紹介可能施設数の拡充のための積極的な営業活動を継続的に実施しました。なお、2026年1月より「介護のほんね」は「みんかい」にブランドを統合しております。

以上の結果、セグメント売上高は791百万円（前年同四半期比7.0%減）、全社共通費用配賦前のセグメント損失（営業損失）は578百万円（前年同四半期はセグメント損失（営業損失）563百万円）となりました。

なお、当該セグメントで減収が発生している要因としては、グッピーヘルスケア事業の売却によるものであり、当該セグメント損失（営業損失）が発生している要因としては、米国事業において、事業拡大及びオペレーション整備のための投資をしていることが挙げられます。

その他、セグメント間取引消去額及び各セグメントに配賦されていない全社共通費用の総額は4,384百万円（前年同四半期比0.2%増）です。

(2)当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は17,397百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,576百万円増加いたしました。これは現金及び預金が1,745百万円、未収入金が639百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は27,181百万円となり、前連結会計年度末に比べ748百万円増加いたしました。これは投資その他の資産が602百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は44,578百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,325百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は13,808百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,291百万円増加いたしました。これは1年内返済予定の長期借入金が990百万円、未払法人税等が744百万円、未払金が497百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は15,522百万円となり、前連結会計年度末に比べ585百万円増加いたしました。これは長期借入金が558百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は29,330百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,877百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は15,247百万円となり、前連結会計年度末に比べ448百万円増加いたしました。これは利益剰余金が1,779百万円増加したこと、自己株式が1,020百万円、資本剰余金が2,346百万円減少したこと等によるものであります。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の通期連結業績予想につきましては、2026年2月13日の「2025年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1)四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,575	10,320
売掛金	3,042	3,535
商品及び製品	455	301
仕掛品	149	7
未収入金	1,881	2,520
前払費用	533	689
その他	235	86
貸倒引当金	△53	△64
流動資産合計	14,820	17,397
固定資産		
有形固定資産	609	568
無形固定資産		
ソフトウエア	374	368
のれん	12,861	13,288
顧客関連資産	9,312	9,076
技術資産	365	321
その他	340	389
無形固定資産合計	23,254	23,443
投資その他の資産	2,567	3,169
固定資産合計	26,432	27,181
資産合計	41,252	44,578

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	443	385
1年内返済予定の長期借入金	3,786	4,777
未払金	2,570	3,068
未払費用	414	354
契約負債	2,306	2,148
預り金	937	1,222
未払法人税等	244	989
その他の引当金	114	188
その他	697	672
流動負債合計	11,516	13,808
固定負債		
長期借入金	12,299	12,857
繰延税金負債	2,563	2,614
その他	74	50
固定負債合計	14,937	15,522
負債合計	26,453	29,330
純資産の部		
株主資本		
資本金	47	47
資本剰余金	12,217	9,870
利益剰余金	7,576	9,356
自己株式	△4,843	△3,823
株主資本合計	14,998	15,451
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△224	△224
為替換算調整勘定	26	21
その他の包括利益累計額合計	△198	△203
純資産合計	14,799	15,247
負債純資産合計	41,252	44,578

(2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年9月30日)
売上高	27,536	33,340
売上原価	10,143	13,258
売上総利益	17,393	20,082
販売費及び一般管理費	15,781	17,701
営業利益	1,611	2,381
営業外収益		
受取利息	22	27
受取和解金	311	859
その他	52	99
営業外収益合計	385	986
営業外費用		
支払利息	132	163
業務委託料	84	40
株式報酬費用消滅損	45	19
その他	53	46
営業外費用合計	315	270
経常利益	1,681	3,097
特別利益		
関係会社株式売却益	155	－
事業譲渡益	48	－
固定資産売却益	1	0
特別利益合計	205	0
特別損失		
固定資産売却損	1	0
固定資産廃棄損	0	2
退職給付制度終了損	24	－
段階取得に係る差損	－	47
特別損失合計	26	50
税金等調整前四半期純利益	1,860	3,047
法人税等	745	1,267
四半期純利益	1,114	1,779
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,114	1,779

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年9月30日)
四半期純利益	1,114	1,779
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△13	△4
その他の包括利益合計	△13	△4
四半期包括利益	1,101	1,775
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,101	1,775
非支配株主に係る四半期包括利益	―	―

(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自　2025年1月1日　至　2025年9月30日)

当第3四半期連結累計期間において、2025年2月14日、2025年3月10日及び2025年8月15日開催の取締役会の決議に基づき、自己株式1,450,000株を4,035百万円で取得しております。

また、2025年2月20日及び2025年3月25日開催の取締役会の決議に基づき、2025年4月11日付で譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分を実施し、資本剰余金が29百万円増加し、自己株式が392百万円減少しております。

さらに、当社を株式交換完全親会社、アクシスルートホールディングス株式会社を株式交換完全子会社とする簡易株式交換により資本剰余金が70百万円増加し、自己株式が459百万円減少しております。

加えて、非支配株主との取引に係る親会社の持分変動により資本剰余金が1,950百万円減少しております。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本剰余金が12,322百万円、自己株式が3,755百万円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自　2026年1月1日　至　2026年9月30日)

当第3四半期連結累計期間において、2025年11月14日の取締役会の決議に基づき、自己株式862,200株を1,709百万円で取得しております。

また、2025年11月20日、2026年2月24日、2026年3月27日及び2026年5月26日開催の取締役会の決議に基づき、2026年1月20日、4月13日及び7月1日付で譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分を実施し、資本剰余金が90百万円、自己株式が472百万円減少しております。

さらに、2026年8月13日開催の取締役会の決議に基づき、2026年8月31日付で自己株式930,000株を消却し、資本剰余金が2,249百万円、自己株式が2,249百万円減少しております。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本剰余金が9,870百万円、自己株式が3,823百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自　2025年1月1日　至　2025年9月30日)

1.　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額(注)	合計
	人材プラットフォーム事業	医療プラットフォーム事業	新規開発サービス	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	19,838	6,582	851	27,272	―	27,272
その他の収益	―	264	―	264	―	264
外部顧客への売上高	19,838	6,847	851	27,536	―	27,536
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	―	―	1	△1	―
計	19,839	6,847	851	27,538	△1	27,536
セグメント利益又は損失(△)	6,809	△259	△563	5,986	△4,375	1,611

(注)1.セグメント利益又は損失(△)の調整額△4,375百万円はセグメント間取引消去額及び報告セグメントに配分していない全社共通費用であります。

2.セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2.　報告セグメントごとの資産に関する情報

(資産の著しい増加)

第1四半期連結会計期間において、アクシスルートホールディングス株式会社を連結の範囲に含めております。「医療プラットフォーム事業」においては、アクシスルートホールディングス株式会社の株式取得に伴い発生したのれん、識別した無形固定資産が増加しております。

3.　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間において、株式会社ASFON TRUST NETWORKを子会社化しております。当該事象によるのれんの増加額は「新規開発サービス」で1,070百万円であります。

また、アクシスルートホールディングス株式会社を子会社化しております。当該事象によるのれんの増加額は「医療プラットフォーム事業」で5,187百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自　2026年1月1日　至　2026年9月30日)

1.　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額(注)	合計
	人材プラットフォーム事業	医療プラットフォーム事業	新規開発サービス	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	24,308	7,880	791	32,980	―	32,980
その他の収益	―	359	―	359	―	359
外部顧客への売上高	24,308	8,240	791	33,340	―	33,340
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	―	―	1	△1	―
計	24,309	8,240	791	33,341	△1	33,340
セグメント利益又は損失(△)	8,120	△776	△578	6,765	△4,384	2,381

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△4,384百万円はセグメント間取引消去額及び報告セグメントに配分していない全社共通費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2.　報告セグメントごとの資産に関する情報

(資産の著しい増加)

当第3四半期連結会計期間において、株式会社ＲＭキャリアを連結の範囲に含めております。「人材プラットフォーム事業」においては、株式会社ＲＭキャリアの株式取得に伴い発生したのれん、識別した無形固定資産が増加しております。

3.　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結会計期間において、株式会社ＲＭキャリアを子会社化しております。当該事象によるのれんの増加額は「人材プラットフォーム事業」で963百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自　2025年1月1日 至　2025年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自　2026年1月1日 至　2026年9月30日)
減価償却費	820百万円	835百万円
のれん償却費	1,000百万円	1,085百万円

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

(1)企業結合の概要

①被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称　　株式会社ＲＭキャリア（新設会社）

事業の内容　　医師・薬剤師転職支援事業、医師・薬剤師採用支援事業

※株式会社ＲＭキャリアは、株式会社リクルートメディカルキャリアが新設し、吸収分割により同社の全事業を承継した会社であります。

②企業結合を行った主な理由

株式会社リクルートメディカルキャリアはアドバイザーによるサポートを主軸とした、医師・薬剤師の採用支援サービスを病院等に対し提供しており、当領域において業界有数の実績を有しております。

当社と株式会社リクルートメディカルキャリアの各サービスは補完性が高く、当社サービスの集客力と株式会社リクルートメディカルキャリアの採用支援サービスのノウハウを活用することにより、医師・薬剤師及び病院領域におけるシェア拡大、採用代行事業におけるオンラインサポートの強化や多職種展開等のサービス拡張が可能となります。さらに将来的には採用代行サービスを起点に、医療機関の人事業務オペレーション全体を対象にAI・DXを駆使したBPO事業が展開できると考えております。これらの相乗効果が期待できるため、本件の株式取得を実行いたしました。

③企業結合日

2026年8月3日

④企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

⑤結合後企業の名称

株式会社ＲＭキャリア

⑥取得した議決権比率

企業結合日に取得した議決権比率　100%

⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価とした株式の取得により、株式会社ＲＭキャリアの議決権を100%取得するためであります。

(2)四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2026年8月3日から2026年9月30日まで

(3)被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	1,127百万円
取得原価		1,127百万円

(4)主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザリーに対する報酬等 32百万円

(5)発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

①発生したのれんの金額

963百万円

②発生原因

主として今後の事業展開から期待される将来の超過収益力によるものであります。

③償却方法及び償却期間

のれんは、効果の発現する見積期間(20年以内)を償却年数とし、定額法により均等償却しております。

(6)企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	159百万円
固定資産	249百万円
資産合計	408百万円
流動負債	156百万円
固定負債	88百万円
負債合計	244百万円

(追加情報)

(取得による企業結合)

当社は、2026年9月17日開催の取締役会において、2026年12月1日を効力発生日として、株式会社USEN WORKINGが運営する介護職・看護師向けスポットワークの「Ucare」事業を、同社より会社分割（簡易吸収分割）により承継することを決議いたしました。

(1)企業結合の概要

①被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称	株式会社USEN WORKING
事業の内容	介護職・看護師向けスポットワークの「Ucare」事業

②企業結合を行う主な理由

当社の顧客事業所及び従事者会員においてもスポットワークサービス活用のニーズは強いと想定されるため、「Ucare」事業の人手不足で悩む事業所と介護・看護ワーカーの方をマッチングするサービスをご案内することにより、マッチング機会の大幅な増加、そして将来的には、スポットワークから長期雇用まで、多様な就業ニーズに対応するサービスの提供を目指します。これらの相乗効果が期待できるため、本吸収分割を実施することを決定いたしました。

③企業結合日

2026年12月1日

④企業結合の法的形式

当社を吸収分割承継会社とし、株式会社USEN WORKINGを吸収分割会社とする吸収分割

⑤結合後企業の名称

株式会社メドレー

⑥取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として、「Ucare」事業を承継するためであります。

(2)被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	330百万円
取得原価		330百万円

(3)主要な取得関連費用の内容及び金額

現時点では確定しておりません。

(4)発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

(5)企業結合日に受け入れる資産及び引き受ける負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。

(当社サービスへの不正アクセスについて)

当社は、医療機関業務支援システム「@link（アットリンク）」及び関連サービスへの第三者による不正アクセスを確認し、被害拡大の防止と調査のため、2026年10月14日にサービスの提供を一時停止いたしました。本件は同月15日に適時開示し、同月23日には患者等の個人情報の漏えいを確認したことを公表いたしました。

現在も外部の専門機関と連携して影響範囲を調査しており、調査の進捗とサービスの提供状況はアットリンクのウェブサイトにて随時お知らせしております。本件が当社グループの2026年12月期の連結業績に与える影響は、現時点では軽微であると見込んでおります。

このほか、当社の別のサービスへの不正アクセスによる登録者情報の漏えい、利用者アカウントへの不正ログイン及び当社が利用する外部サービスでの情報漏えいを確認し、各事案に対応しております。当社は多要素認証の必須化を進めるとともに、新たに把握した脆弱性には緊急度に応じて対策を講じております。今後、開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。